



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL <https://www.yamabiko-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 久保 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐野 雄一 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	38,153	19.7	3,466	45.0	3,948	72.0	2,866	128.6
2020年12月期第1四半期	31,871	6.4	2,390	32.1	2,295	29.2	1,253	△11.3

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 4,669百万円 (758.5%) 2020年12月期第1四半期 543百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	69.06	—
2020年12月期第1四半期	30.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	117,102	62,815	53.6	1,513.69
2020年12月期	107,152	59,814	55.8	1,441.32

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 62,815百万円 2020年12月期 59,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	76,000	11.8	6,800	12.5	6,800	13.5	5,000	21.1	120.48
通期	134,000	1.5	7,700	△20.2	7,700	△18.1	5,600	△15.6	134.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	44,108,428株	2020年12月期	44,108,428株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	2,609,892株	2020年12月期	2,608,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	41,498,763株	2020年12月期 1 Q	41,491,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は、主力の防除機等が政府による経営継続補助金の新たな予算化により追い風を受けました。国内建設機械市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い販売活動の停滞や需要の減少などによる影響を受けて厳しい状況が続きました。海外小型屋外作業機械市場は、順調な天候や在宅時間の増加などにより想定以上に旺盛な需要が継続しました。

また、為替相場は、前年同期間に比べて対ドルは円高水準となりましたが、対ユーロは円安基調で推移しました。

このような環境の下、当社グループは主力の小型屋外作業機械において、海外ではプロ向け「Xシリーズ」製品のプロモーションを積極的に展開するとともに、国内では新製品投入やユーザーの満足度向上などに努めたほか、バッテリー製品のラインナップ拡充に向けた準備を推し進めました。また、農業用管理機械および一般産業用機械では省力化を目指すスマート農業に対応した防除機の拡販や発電機へのIoT活用など、2年目となった3ヶ年計画「中期経営計画2022」の各施策に取り組みました。加えて、意思決定のスピードアップやグローバル化の推進による業務執行体制の強化を図るとともに、セグメント毎に独立していた開発組織を再編・統合するなど、連携と効率化の推進にも注力しました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	2021年12月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 31,871	百万円 38,153	百万円 6,282	% 19.7
国内	12,219	13,255	1,035	8.5
海外	19,651	24,897	5,246	26.7
米州	16,931	20,811	3,880	22.9
その他海外	2,719	4,085	1,366	50.2
営業利益	2,390	3,466	1,076	45.0
経常利益	2,295	3,948	1,652	72.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,253	2,866	1,612	128.6

[売上高]

国内：一般産業用機械が低迷したものの、農業用管理機械が大きく伸長したことに加え、小型屋外作業機械も増加して増収となりました。

海外：小型屋外作業機械が米州や欧州を始めとして総じて大きく伸長したことなどにより増収となりました。

[損益]

一般産業用機械の販売が減少したものの、小型屋外作業機械や農業用管理機械が伸長したことなどにより営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同四半期に比べて大幅な増益となりました。

[セグメント別の業績]

① 小型屋外作業機械

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	2021年12月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 21,642	百万円 26,858	百万円 5,216	% 24.1
国内	3,634	3,741	107	2.9
海外	18,007	23,116	5,108	28.4

国内：主に小型のチェンソーやパワーブロワが伸長したほか、動力散布機や動力噴霧機も前年の病害虫発生による需要の高まりが継続したことなどにより増収となりました。

海外：主力の北米や欧州は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う在宅時間の増加を背景に、チェンソーを始め刈払機やパワーブロワなどの主要製品に加え、アクセサリも引き続き販売が伸長しました。その他、豪州やアジアで需要回復の兆しが見え始めたことなどもあり、海外全体では前年同四半期に比べて大幅な増収となりました。

② 農業用管理機械

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	2021年12月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 5,144	百万円 6,681	百万円 1,537	% 29.9
国内	3,975	5,402	1,426	35.9
海外	1,168	1,279	110	9.5

国内：政府による経営継続補助金の新たな予算化により防除機が伸長し、モアや畦草刈機、高所作業機なども好調を維持したほか、スマート農業に対応した牽引式スプレーヤも販売を伸ばして増収となりました。

海外：北米は、穀物価格の回復基調を背景に、生産者の購買意欲も改善して大豆収穫機の販売が好転したほか、ポテト関連製品も前年に引き続き堅調に推移したことなどにより増収となりました。

③ 一般産業用機械

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	2021年12月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 4,647	百万円 4,060	百万円 △586	% △12.6
国内	4,171	3,560	△611	△14.7
海外	475	500	25	5.3

国内：新型コロナウイルスの感染拡大に伴う販売活動の停滞や建設工事等の遅れに加え、前年伸長したガソリンスタンド向け非常用発電機需要の反動を受けたことなどにより減収となりました。

海外：新型コロナウイルスの影響が続き、若干の増収にとどまりました。

④ その他

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間	2021年12月期 第1四半期連結累計期間	増減額	増減率
売上高	百万円 437	百万円 552	百万円 114	% 26.3

主要3事業以外の売上高は、主に国内における除雪機販売が増加したことなどにより増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて99億50百万円増加し1,171億2百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加90億64百万円、商品及び製品の増加21億7百万円、現金及び預金の減少13億20百万円等によるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて69億48百万円増加し542億86百万円となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加34億97百万円、電子記録債務の増加12億17百万円、賞与引当金の増加9億66百万円等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて30億1百万円増加し628億15百万円となりました。

その主な要因は、為替換算調整勘定の増加17億88百万円、利益剰余金の増加11億98百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント減少し、53.6%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが3億56百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが4億77百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが14億42百万円の支出となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は119億23百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益39億47百万円、賞与引当金の増加額9億66百万円、売上債権の増加額78億31百万円、たな卸資産の増加額8億78百万円、仕入債務の増加額37億47百万円、未収消費税等の減少額11億51百万円等により、3億56百万円の収入（前年同四半期は34億44百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出7億34百万円、有形及び無形固定資産の売却による収入2億60百万円等により、4億77百万円の支出（前年同四半期は5億35百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額1億27百万円、配当金の支払額15億8百万円等により、14億42百万円の支出（前年同四半期は39億51百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況などを勘案し、連結業績予想の見直しを行った結果、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期第2四半期（累計）および通期の連結業績予想を修正しております。

詳細については、本日（2021年5月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,243	11,923
受取手形及び売掛金	27,294	36,358
商品及び製品	21,824	23,931
仕掛品	2,011	2,269
原材料及び貯蔵品	11,306	11,406
その他	2,332	1,383
貸倒引当金	△216	△238
流動資産合計	77,796	87,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,190	8,261
土地	7,555	7,325
その他（純額）	6,889	7,317
有形固定資産合計	22,635	22,904
無形固定資産	428	463
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,245	1,272
その他	5,440	5,816
貸倒引当金	△394	△389
投資その他の資産合計	6,291	6,699
固定資産合計	29,355	30,068
資産合計	107,152	117,102

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,763	13,260
電子記録債務	12,086	13,303
短期借入金	2,794	2,987
1年内返済予定の長期借入金	536	634
未払法人税等	861	1,213
賞与引当金	—	966
製品保証引当金	543	555
厚生年金基金解散損失引当金	475	475
その他	6,056	6,690
流動負債合計	33,117	40,088
固定負債		
長期借入金	11,374	11,417
退職給付に係る負債	47	50
製品保証引当金	786	867
厚生年金基金解散損失引当金	1,015	713
役員株式給付引当金	196	229
その他	800	919
固定負債合計	14,221	14,198
負債合計	47,338	54,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,743	9,743
利益剰余金	45,133	46,331
自己株式	△925	△925
株主資本合計	59,951	61,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	950	1,059
繰延ヘッジ損益	—	△99
為替換算調整勘定	△762	1,026
退職給付に係る調整累計額	△326	△320
その他の包括利益累計額合計	△137	1,666
純資産合計	59,814	62,815
負債純資産合計	107,152	117,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	31,871	38,153
売上原価	22,809	27,801
売上総利益	9,061	10,352
販売費及び一般管理費	6,671	6,885
営業利益	2,390	3,466
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	—	464
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	14	2
受取ロイヤリティー	8	—
その他	28	53
営業外収益合計	58	526
営業外費用		
支払利息	43	27
為替差損	42	—
支払手数料	1	1
その他	65	17
営業外費用合計	153	45
経常利益	2,295	3,948
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	12	2
特別損失合計	12	2
税金等調整前四半期純利益	2,282	3,947
法人税、住民税及び事業税	792	1,203
法人税等調整額	235	△122
法人税等合計	1,028	1,081
四半期純利益	1,253	2,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,253	2,866

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,253	2,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△479	108
為替換算調整勘定	△230	1,788
退職給付に係る調整額	0	6
繰延ヘッジ損益	—	△99
その他の包括利益合計	△709	1,803
四半期包括利益	543	4,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	543	4,669

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,282	3,947
減価償却費	846	751
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	2
受取利息及び受取配当金	△6	△4
支払利息	43	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	808	966
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,145	△7,831
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,628	△878
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,399	3,747
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,077	1,151
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△2
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	△302	△302
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	11	32
その他	△966	△408
小計	△2,603	1,182
利息及び配当金の受取額	4	7
利息の支払額	△47	△24
法人税等の支払額	△798	△808
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,444	356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△629	△734
有形及び無形固定資産の売却による収入	101	260
その他	△7	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535	△477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,304	127
長期借入れによる収入	544	—
長期借入金の返済による支出	△549	△5
配当金の支払額	△1,322	△1,508
その他	△26	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,951	△1,442
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	243
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△75	△1,320
現金及び現金同等物の期首残高	6,262	13,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,187	11,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の財政状態、経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	21,642	5,144	4,647	31,433	437	-	31,871
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,851	3,903	4,324	22,080	506	△22,587	-
計	35,494	9,048	8,972	53,514	943	△22,587	31,871
セグメント利益 又は損失(△)	3,551	△74	340	3,817	66	△1,493	2,390

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,493百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業 機械	農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	26,858	6,681	4,060	37,601	552	-	38,153
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,769	4,595	3,211	24,576	331	△24,908	-
計	43,627	11,277	7,272	62,177	883	△24,908	38,153
セグメント利益	4,551	111	224	4,886	116	△1,536	3,466

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益の調整額△1,536百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（子会社株式の追加取得）

当社は、2021年4月12日開催の取締役会において、連結子会社であるやまびこヨーロッパ・エス・エイの株式を追加取得し、完全子会社化することを決議し、2021年4月27日付けで株式を追加取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	やまびこヨーロッパ・エス・エイ
事業の内容	自動芝刈機の製造・販売、小型屋外作業機械の販売

(2) 企業結合日

2021年4月27日

(3) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更ありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は39.0%であり、当該取引により当社が保有するやまびこヨーロッパ・エス・エイに対する議決権比率は100%となりました。当該追加取得は、当社グループ内における一層の連携強化により、意思決定の迅速化及び自動芝刈機、小型屋外作業機械のさらなる販売拡大を通じて、企業価値の向上を図ることを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理する予定であります。

3. 子会社株式を追加取得した場合に掲げる事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	457百万円
<hr/>		
取得原価		457百万円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少する資本剰余金の金額

457百万円